

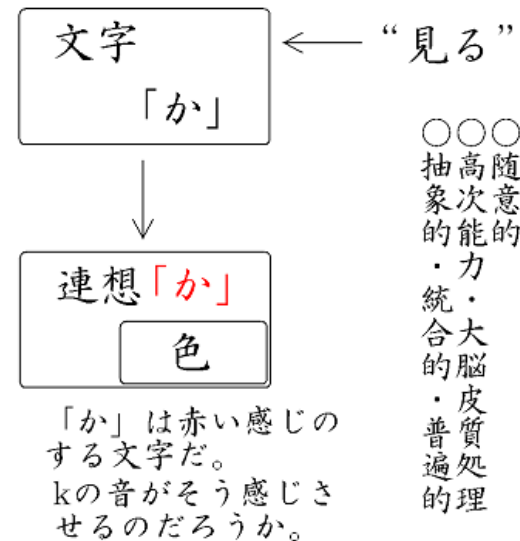
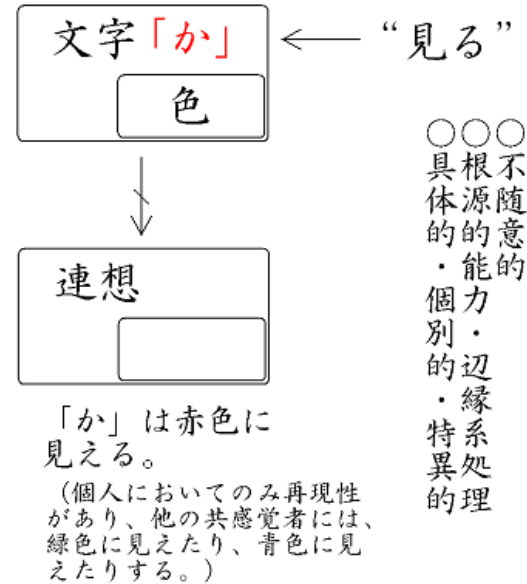
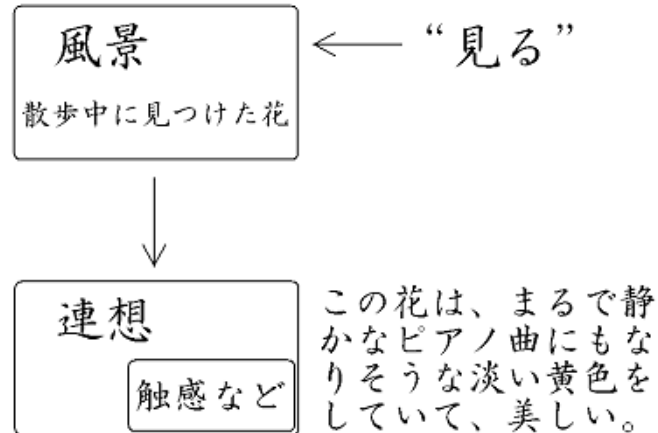
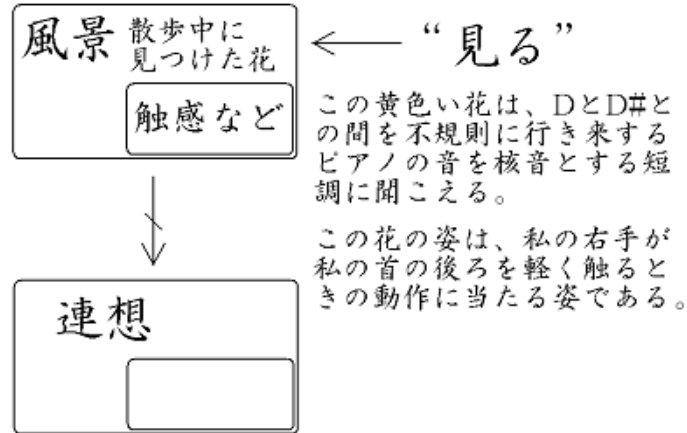
音に色が見える世界 —共感覚とは何か—

岩崎純一

2009年11月21日(土)15:00～18:00

早稲田大学戸山キャンパス36号館682教室

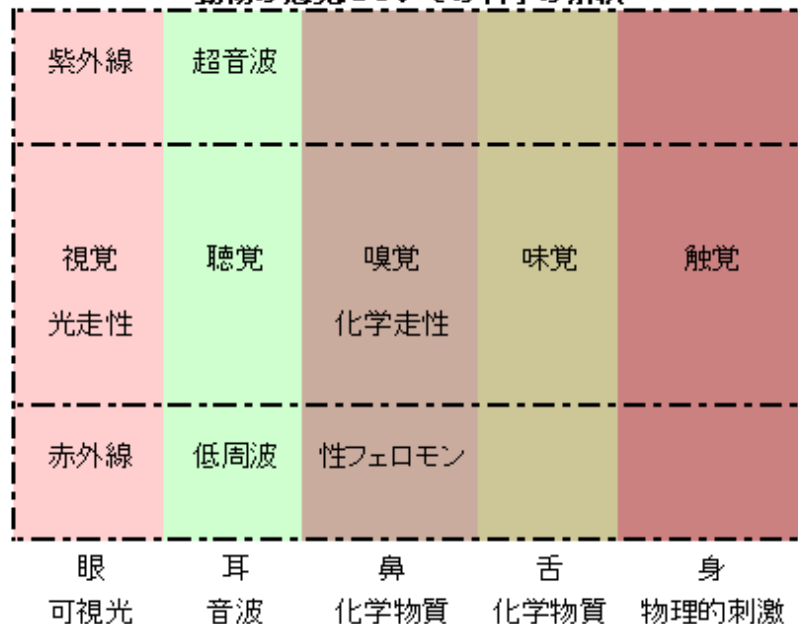
共感覚とは何か



共感覚

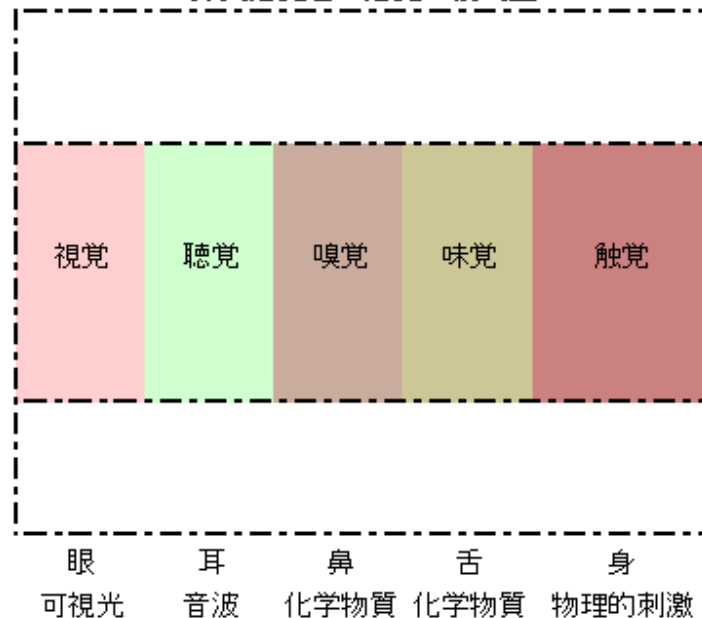
連想・比喻・共通感覚・
異種感覚連合・想像など

動物の感覚についての科学の解釈

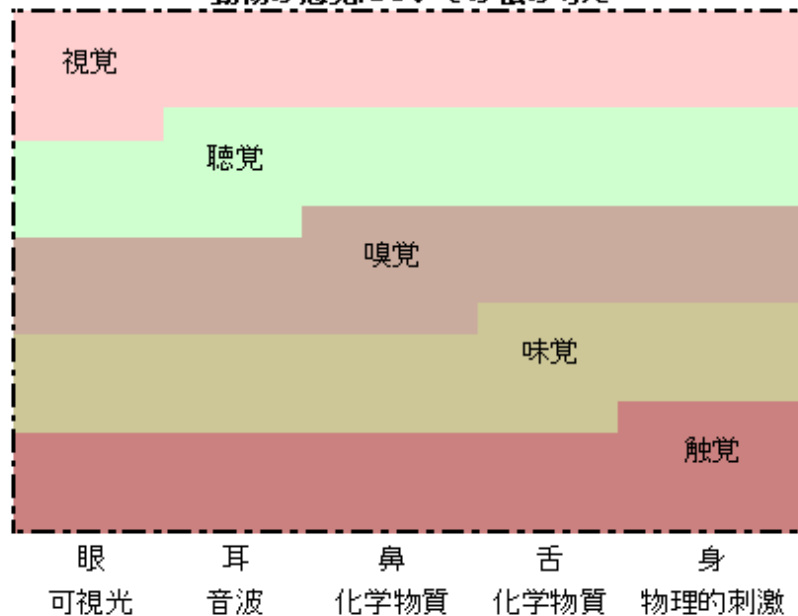


非共感覚者の感覚の模式図

生じる感覚



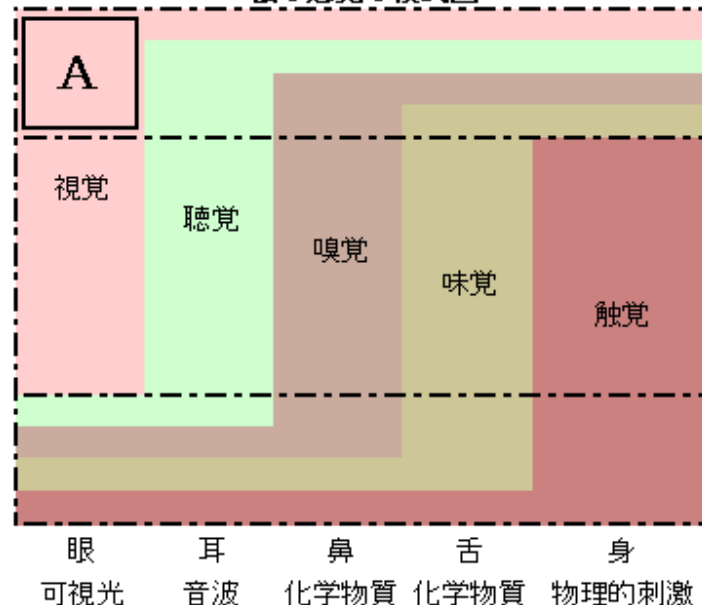
動物の感覚についての私の考え



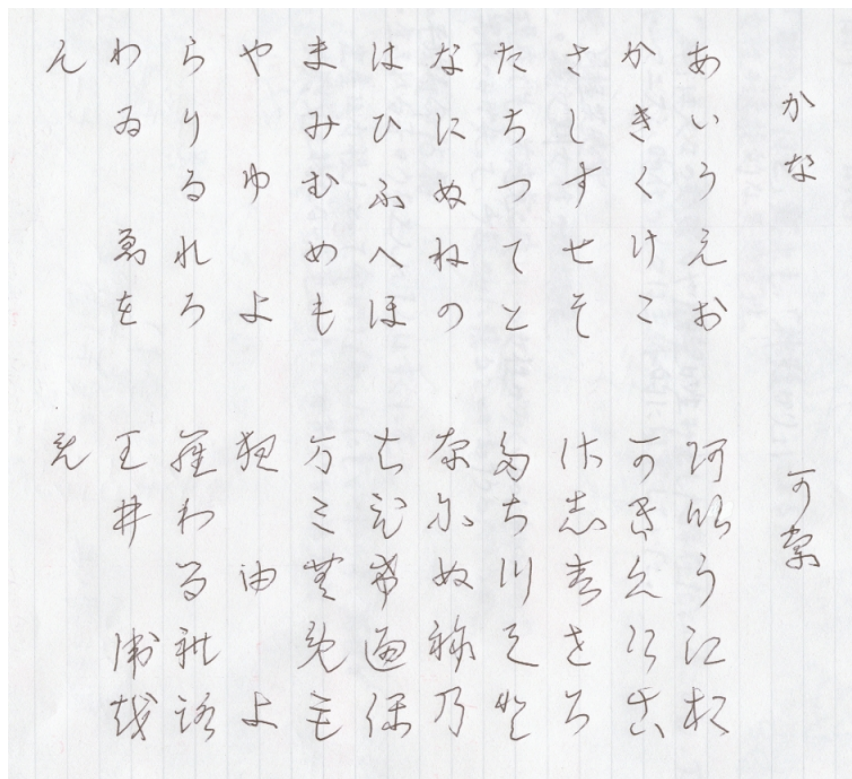
私の感覚の模式図

生じる感覚

主な感覚器官
主な感覚対象



ひらがな・カタカナ



ん わ ら や ま は な た さ か あ
 ゐ り ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ
 ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ
 を ろ よ も ほ の と そ こ お

ン ワ ラ ヤ マ ハ ナ タ サ カ ア
 牛 リ ミ ヒ ニ チ シ キ イ
 エ レ ム フ ヌ ツ ス ク ウ
 ヲ ロ ヨ モ ホ ノ ト ソ コ オ

漢字

優憂欲谷
偽為歐區
借昔欠
信言闇音
体本閥伐
付寸閣各
人門

水無月 六月	皁月 五月	卯月 四月	弥生 三月	如月 二月	睦月 一月
夏至 芒種	小滿 立夏	穀雨 清明	春分 啓蟄	雨水 立春	大寒 小寒
師走 十二月	霜月 十一月	神無月 十月	長月 九月	葉月 八月	文月 七月
冬至 大雪	小雪 立冬	霜降 寒露	秋分 白露	処暑 立秋	大暑 少暑

黒灰紫青紺緑
黄橙茶赤桃白

立立音音意
日日心心
心心

窓越しに月おし照りて
あしひきの
嵐吹く夜は君をいとおもふ



浮世の闇を
照らしてぞゆく

楷書で書くと色はどのように
変化するだろうか。

行書のまろみと色はどのように
変化するだろうか。

草書で書くと色はどのように
変化するだろうか。

書



逢はむ日の形見にせよと手弱女の
 思ひ乱れて縫へる衣を
 遠きより飛見はせよと手弱女
 思ひ乱れて縫へる衣を
 桜花咲きかも散ると
 見るまでに
 誰かも此処に見えて散り行く
 うつつには逢ふよしもなし
 夢にだに
 間なく見えぬ
 恋に死ぬや

逢はむ日の形見にせよと手弱女の
 思ひ乱れて縫へる衣を
 遠きより飛見はせよと手弱女
 思ひ乱れて縫へる衣を
 桜花咲きかも散ると
 見るまでに
 誰かも此処に見えて散り行く
 うつつには逢ふよしもなし
 夢にだに
 間なく見えぬ
 恋に死ぬや

余はぬけの雲しく月けり
 川の中を流るる水

余はぬけの雲しく月けり
 川の中を流るる水

余はぬけの雲しく月けり
 川の中を流るる水

余はぬけの雲しく月けり
 川の中を流るる水

書

共感覚絵画



臃親詭中形形彩密広教趣
 臃親枕形待悲枕草五孤悲
 臃語妨待待悲待教五閨悲
 親道悲待悲悲悲家其願癸
 造朝待悲悲原考美草親教
 造密贈悲原原考語建臃強
 林素道癸癸房枕素語臃広
 強家者新親親欲身落落朝
 美則寒形形甲形彩落語落
 即其寒癸悲房悲悲悲形落
 森建枕悲待房努姉悲間語
 密草枕悲待悲姉妨悲枕晚
 造語反悲原待妨待待枕願
 臃親反癸原待魂魂考考親
 新森草癸悲原贈考教慕建
 臃森臃密教教道五密密臃
 臃臃臃親新親臃臃臃臃

—紫陽花—

2007.7.22

アルファベット・数字・音階

A B C D E F G H I J K L M N

O P Q R S T U V W X Y Z

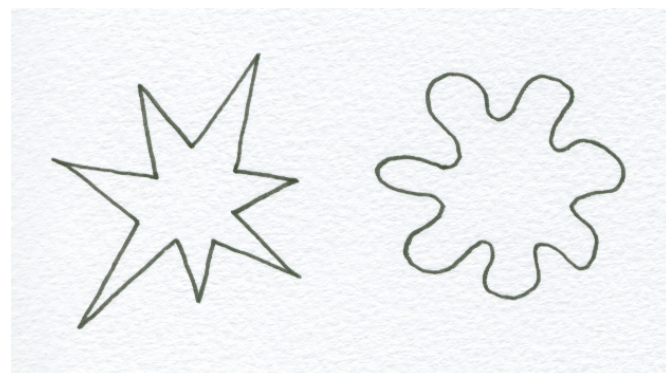
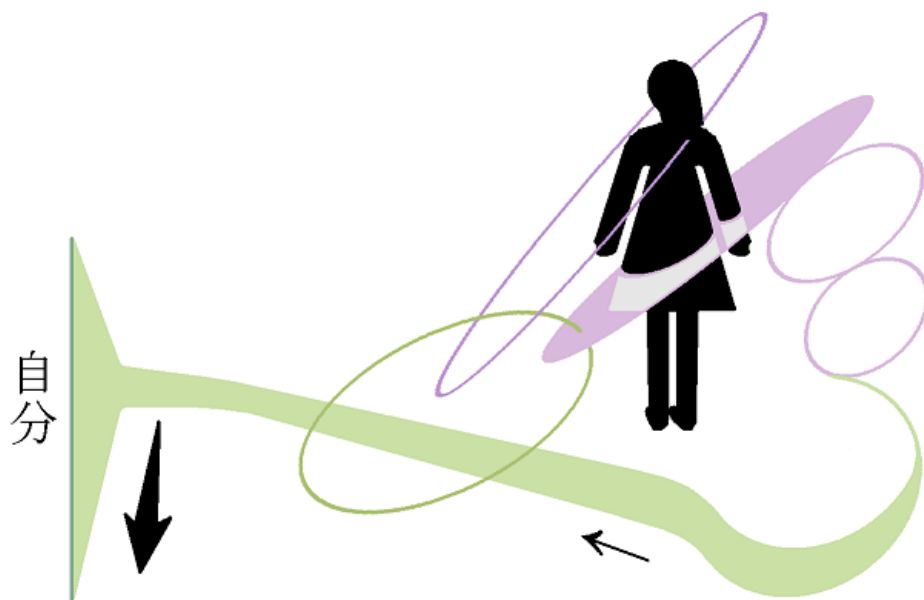
a b c d e f g h i j k l m n

o p q r s t u v w x y z

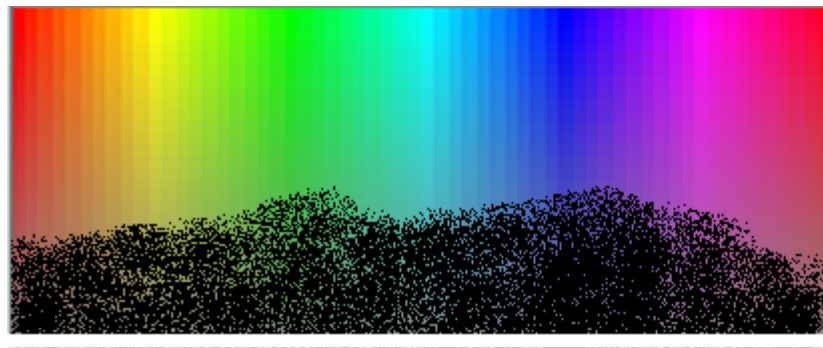
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0



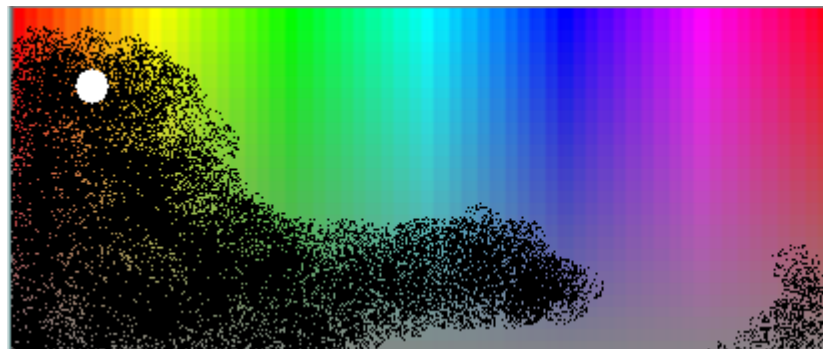
对女性共感觉



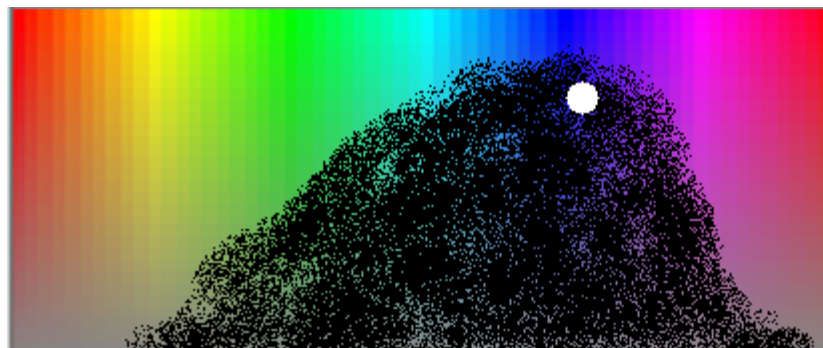
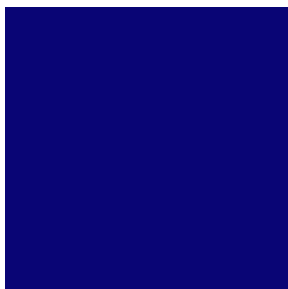
A

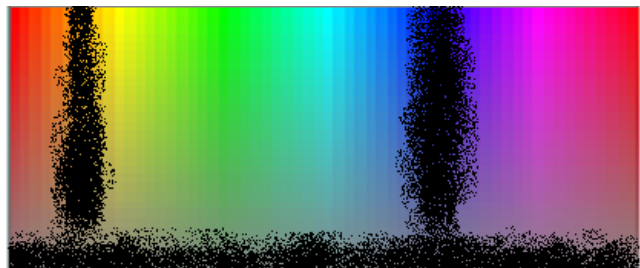


B

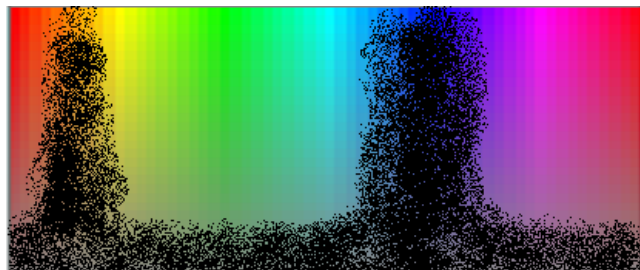
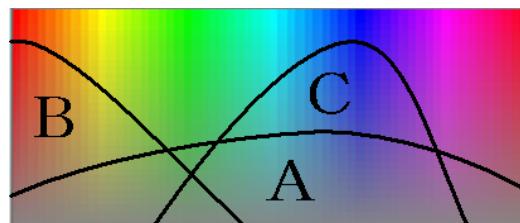
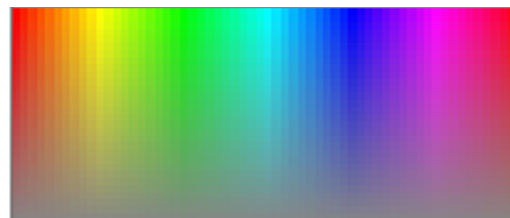


C

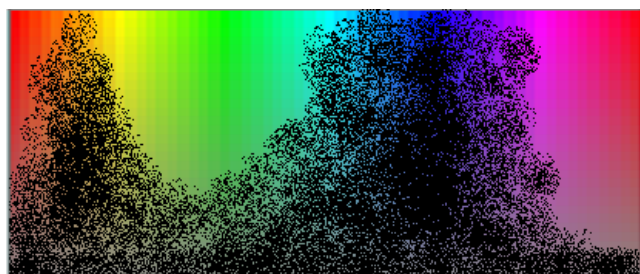




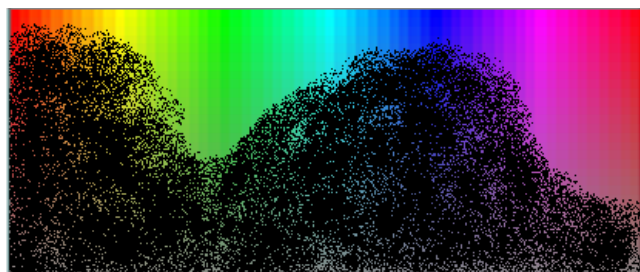
男性



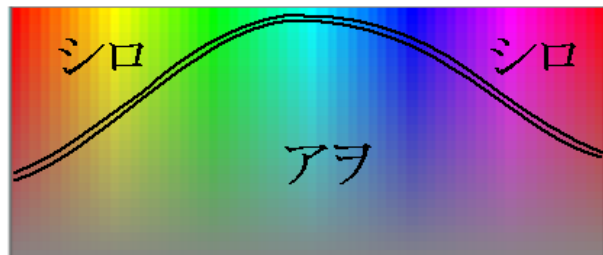
非共感覚者女性



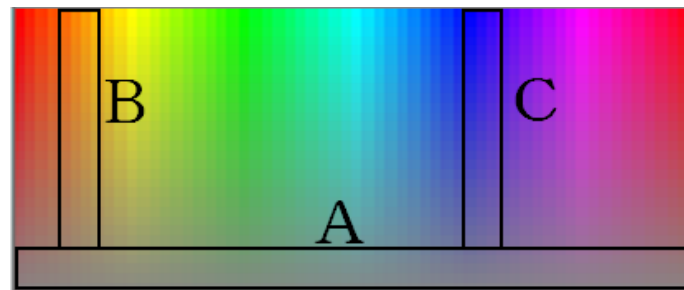
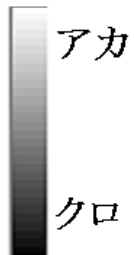
共感覚者女性



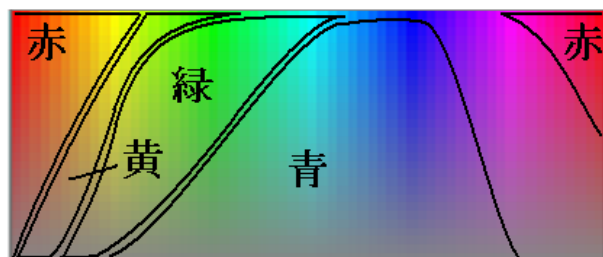
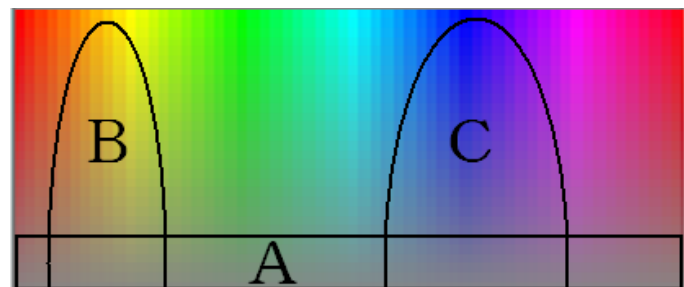
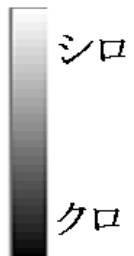
A、B、Cの統合



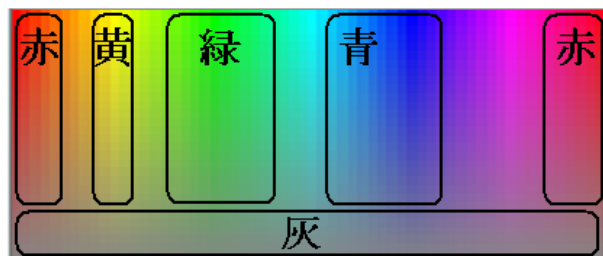
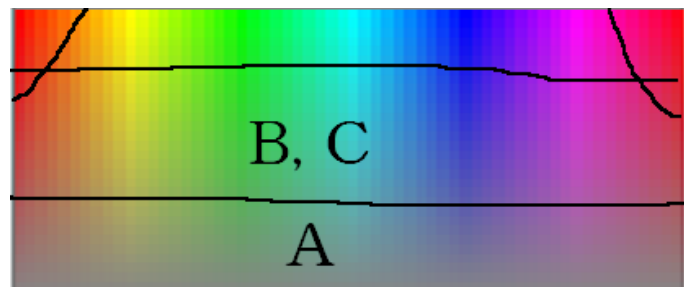
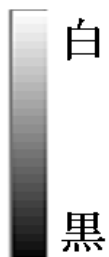
縄文・弥生時代



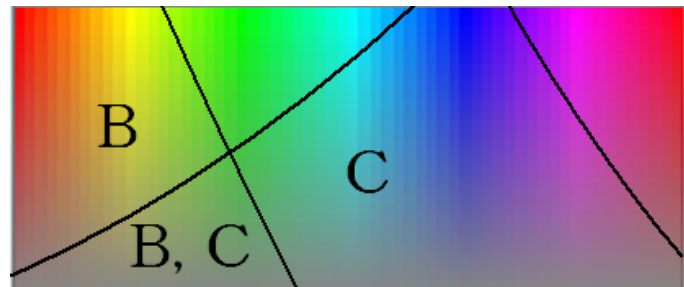
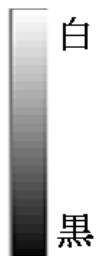
奈良時代



平安～江戸時代末期

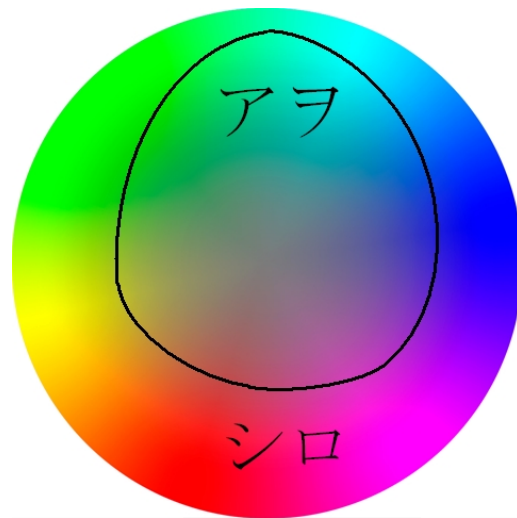


明治時代以降





平安～江戸時代末期



縄文・弥生時代



明治時代以降



奈良時代